第十二講　科学論・心理論　〈記述問題〉

子どもは、「ふしぎ」と思う事に対して、大人から教えてもらうことによって知識を吸収していくが、時に自分なりに「ふしぎ」な事に対して自分なりの説明を考えつくときもある。子どもが「なぜ」ときいたとき、すぐに答えず、「なぜでしょうね」と問い返すと、面白い答が子供の側から出てくることもある。

「お母さん、せみはなぜミンミンミン鳴いてばかりいるの」と子どもがたずねる。

「なぜ、鳴いているんでしょうね」と母親が応じると、

「お母さん、お母さんと言って、せみが呼んでいるんだね」と子どもが答える。そして、自分の答に満足して再度質問しない。

これは、子どもが自分で「説明」を考えたのだろうか。

それは単なる外的な「説明」だけではなく、何かあると「お母さん」と呼びたくなる自分の気持ちもそこに込められているのではなかろうか。だからこそ、子どもは自分の答に「納得」したのではなかろうか。そのときに、母親が「なぜって、せみはミンミンと鳴くものですよ」とか、「せみは鳴くのが仕事なのよ」とか、答えたとしても「納得」はしなかったであろう。たとい、せみの鳴き声はどうして出てくるかについて^A「正しい」知識を供給しても、同じことだっただろう。そのときに、その子にとって納得のいく答というものがある。

「そのときに、その人にとって納得がいく」答は、「物語」になるのではなかろうか。せみの声を聞いて、「せみがお母さん、お母さんと呼んでいる」というのは、すでに物語になっている。外的な現象と、子どもの心のなかに生じることとがひとつになって、物語に結晶している。

人類は言語を用いはじめた最初から物語ることをはじめたのではないだろうか。短い言語でも、それは人間の体験した「ふしぎ」、「おどろき」などを^B心に収めるために用いられたであろう。

古代ギリシャの時代に、人々は太陽が熱を持った球体であることを知っていた。しかしそれと同時に、彼らは太陽を四頭立ての金の馬車に乗った英雄として、それを語った。これはどうしてだろう。夜の闇を破って出現してくる太陽の姿を見たときの彼

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

らの体験、その存在のなかに生じる感動、それらを表現するのには、太陽を黄金の馬車に乗った英雄として物語ることが、はるかにふさわしかったからである。

かくて、各部族や民族は「いかにしてわれわれはここに存在するのか」という、人間にとって根本的な「ふしぎ」に答えるものとしての物語、すなわち神話を持つようになった。それは単に「ふしぎ」を説明するなどというものではなく、存在全体にかかわるものとして、その存在を深め、豊かにする役割をもつものであった。

ところが、そのような「神話」を現象の「説明」としてみるとどうなるだろう。確かに英雄が夜毎に怪物と戦い、それに勝利して朝になると立ち現われてくるという話は、ある程度、太陽についての「ふしぎ」を納得させてくれるが、そのすべての現象について説明するのには都合が悪いことも明らかになってきた。たとえば、せみの鳴くのを「お母さんと呼んでいる」として、しばらく納得できるにしても、しだいにそれでは都合の悪いことがでてくる。

そこで、現象を「説明」するための話は、なるべく人間の内的世界をかかわらせない方が、正確になることに人間がだんだん気がつきはじめた。そして、その傾向の最たるものとして、「自然科学」が生まれてくる。「ふしぎ」な現象を説明するとき、その現象を人間から切り離したものとして観察し、そこに話をつくる。

このような「自然科学」の方法は、ニュートンが試みたように、「ふしぎ」の説明として普遍的な話（つまり、物理学の法則）を生み出してくる。これがどれほど強力であるかは、周知のとおり、現代のテクノロジーの発展がそれを示している。これがあまりにも素晴らしいので、C近代人は「神話」を嫌い、自然科学によって世界を見ることに心をつくしすぎた。これは外的現象の理解に大いに役立つ。しかし、神話をまったく放棄すると、自分の心のなかのことや、自分と世界とのかかわりが無視されたことになる。

せみの鳴き声を母を呼んでいるのだと言った坊やは、科学的説明としてはまちがっていたかも知れないが、そのときのその坊やの「世界」とのかかわりを示すものとして、もっとも適当な物語を見出したということができる。

ところで、(注)すでに述べた赤づくしの服装の人に二度も出会った人が次に三度目に出会う。そして、「わかった。あれはＣＩＡの人物が僕をつけ回しているのだ」と判断したとする。このような解釈は、自分の心の状態を表現するのにはピッタリかも知れないが、外的事実の吟味をまったく怠っている。あるいは、内的事実と［ D ］が取り違えられているといえる。このようなとき

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

は、妄想ということになる。

このことは逆に考えると、精神病的な妄想といえども、それを「異常」としてのみ見るのではなく、その人が世界と自分とのかかわりを、なんとか自分なりに納得しようとしたり、それを他人に伝えようとしたりする努力のあらわれとして見ることもできる。

自然科学と妄想との間に「物語」があると考えてみると、その特性がわかる。簡単に言うと、自然科学は外的事実に、妄想は［Ｅ］に極端に縛られた「物語」ということになる。

（河合隼雄『物語とふしぎ』による）

（注）「すでに述べた」とあるのは、次の部分を指す。

〈電車に乗っていると、赤い帽子に赤い靴、鞄まで真赤という服装のおじさんが乗ってくる。「あれ、ふしぎな人」と思うが、おじさんがどこかで降りてしまうと、「変な人だったな」と思い、それで忘れてしまう。この際は、「わかった」というところはないが、「変な人」ということで、自分の人生にかかわりのない事柄として、心の中から排除してしまうことにより、心の平静をとり戻す。

せっかく平静をとり戻したのに、翌日まったく違うところで電車に乗っていると、また例のおじさんがやってきた。こうなるとそのままではおれない。「偶然だ」、「あんな服装流行しているのかな」、「あのおじさん、僕をつけているのかな、まさか」などと心がはたらきはじめる。〉

問１　傍線部Ａ「『正しい』知識を供給しても、同じことだったろう」とあるが、その理由について三十字以内（句読点を含む）で記せ。

問２　傍側部Ｂ「心に収める」とほぼ同じ意味でもちいられている表現（五文字以内）を本文中から抜き出せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　傍線部Ｃに「近代人は『神話』を嫌い」とあるが、近代人が嫌う『神話』とはなにか。本文に即して三十字以内（句読点を含む）で説明せよ。

問４　空欄［Ｄ］・［Ｅ］に入る最も適当な言葉を本文中から抜き出し、それぞれ記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者は前講と同じ河合隼雄さんです。とにかく入試現代文や小論文での登場回数の多い人です（出典の王様とも呼ばれる）から、再登場です。

●アイザック＝ニュートン　イギリスの物理学者。科学史的には、紀元前のアリストテレス以来の宇宙観（お椀型の閉じた宇宙）を二千年ぶりに刷新し、近代的な宇宙観（無限空間）へ転換した。万有引力の発見者としてあまりに有名。他に「私がほかの人より遠くを見ることが可能だったのは、私が巨人の肩に立ったからである」という印象的なことばを残しています。ついでに、積分学の創始をめぐってライバル関係にあったのはドイツのライプニッツですが、こちらはお名前がモーレツにカッコイイです。ゴットフリート＝ヴィルヘルム＝ライプニッツです。

語句

普遍的＝ふへんてき→いつでもどこでも何にでもあてはまること・ユニバーサル

ＣＩＡ＝Central Intelligence Agency→アメリカ政府の諜報（情報収集・情報分析）機関。かつてバージニア州ラングレーに本部があったことから〝ラングレー〟とも呼ばれる。現在ではバージニア州のマクレーンに移転。スパイ映画でおなじみ。イギリスの諜報機関としてはＳＩＳ＝Secret Intelligence Service があり、こちらは映画「００７シリーズ」で有名です。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十二講

次の傍線部にあたる漢字を、次の選択肢から選びなさい。

（ア）自然の不思議への探求はカン察から始まる　①感　②勘　③観　④寛　⑤歓

（イ）人それぞれにカイ釈は異なりうる　①会　②解　③開　④戒　⑤怪

（ウ）努力の結ショウとして今回の成功がある　①生　②賞　③勝　④晶　⑤翔

（エ）需要とキョウ給の経済バランスを考える　①供　②共　③享　④興　⑤経

（オ）この理論物理の学説はフ遍性をもつ　①賦　②負　③譜　④普　⑤富

（カ）一人の物思いではモウ想ともなりうる　①蒙　②妄　③盲　④亡　⑤猛

（キ）従来の会社運営の方針を放キする　①忌　②軌　③棄　④飢　⑤危

（ク）余計な雑念を排ジョして冷静になる　①所　②徐　③叙　④除　⑤助

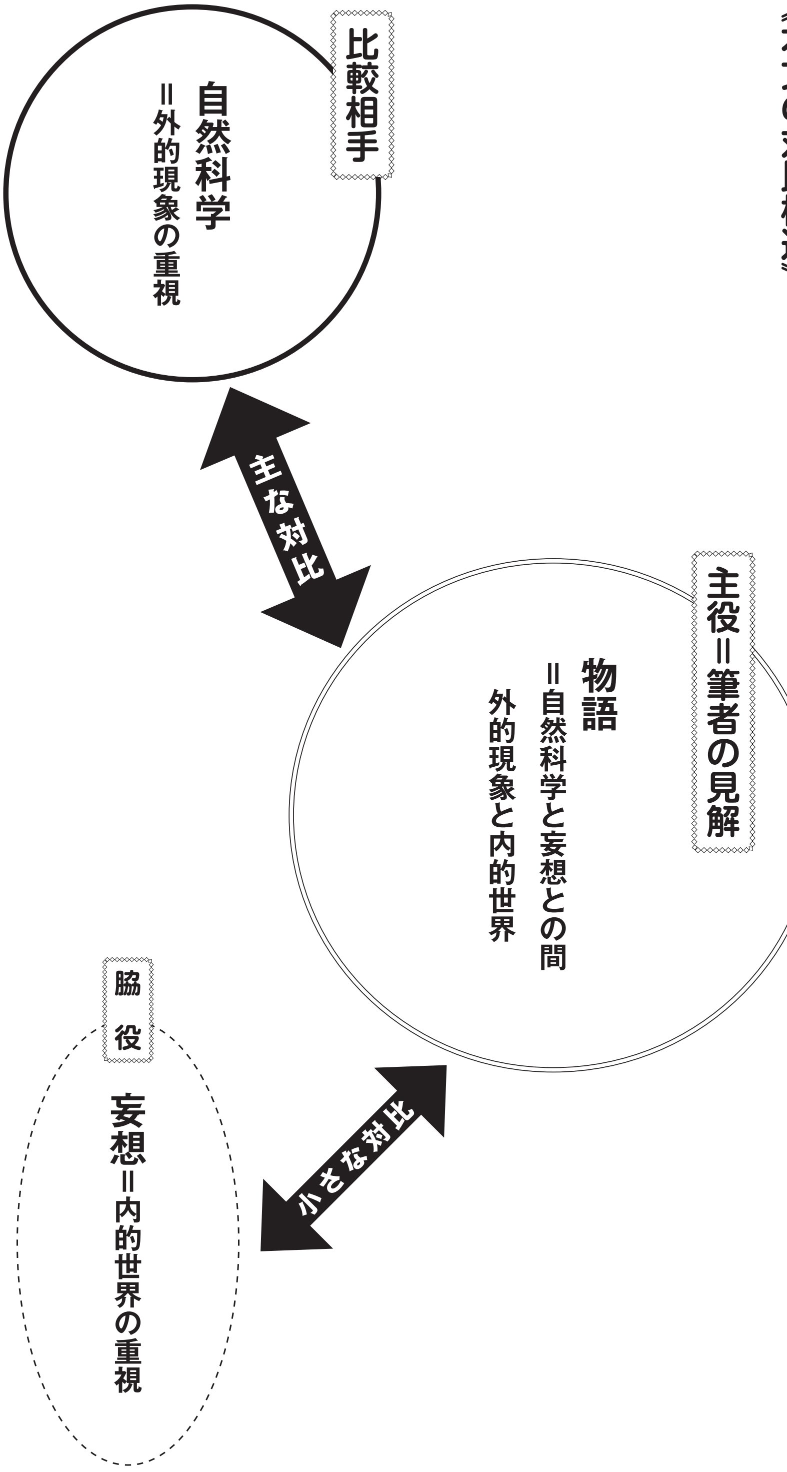
（ケ）秘密のつもりでもシュウ知の事実だ　①拾　②羞　③収　④周　⑤執

（コ）自然現ショウを厳密に記述する　①像　②賞　③症　④象　⑤性

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　科学論・心理論

《本文の対比構造》



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《傍線部説明・記述》

傍線部の理由説明を書きます。まず「同じこと」は、直前の「『納得』はしなかったであろう」と同じだよということです。「『正しい』知識」というのは、大人から教えられるものや自然科学の説明です。たとえば、セミは求愛行動として一秒回に数百回刻みで羽と腹を振動させているというような説明です。さて、お母さんの乱暴な「せみはミンミンと鳴くものですよ」「せみは鳴くのが仕事なのよ」というヤッツケ回答にも納得せず、昆虫図鑑に載っているような説明にも納得しないのはなぜかを書きます。シンプルに言うと、自分の心が関わっていないからです。というわけで、得点になるポイント箇所を言います。第一ポイント「子どもは」という主語、第二ポイントは「自分の」「自分なりの」、第三ポイントは「気持ち・内面・内的世界・内的事実・心」が入った「物語」、第四ポイントは「納得」です。順番は問いません。自分の解答にこれらに該当する箇所があれば、足し算し、得点とします。四つのうち二つ以上取れると国公立大学合格水準です。

問２《傍線部説明・抜き出し》

「心」側が入る、筆者おススメの側の言葉です。本文中に何度も出てきます。「納得がいく」でも「納得のいく」でも「納得できる」でもいずれでもＯＫです。

問３《傍線部説明・記述》

今回の敵役・比較相手である「近代人」の視点からの「物語」の説明です。筆者の視点からなら「物語」はよいものとしてポジティブに説明することができますが、この設問は「物語」への悪口、批判です。「近代人」は「自然科学」の説明を優れたものと考えますから、それと比べたときの「物語」の欠点を挙げていくわけです。では、得点になるポイント箇所を挙げていきます。第一ポイント「自然科学と比べ」「自然科学と違い」「自然科学と異なり」などの表現です。第二ポイント「すべての」「普遍的」「広い」「広範な」、第三ポイント「現象の説明」「説明」、第四ポイント「正確ではない」「役立たない」「都合が悪い」などです。順番は問いません。四つのうち、二つ以上得点できるとよいですね。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４《空欄補充・抜き出し》

相互に対比になるキーワード抜き出しです。［D］は「内的事実」との対比、［E］は「外的事実」との対比です。したがって［D］は「外的事実」もしくは「外的現象」と決まり、［E］は「内的事実」もしくは「内的世界」と決まります。

模範解答

問１　子どもは、自分の気持ちと関わった物語でないと納得しないから。
（子どもは、自分の気持ちと関わった物語だと納得するから。）

問２　納得がいく（納得のいく、納得できるも可）

問３　自然科学と比べ外的事実の普遍的な説明には役立たないもの。

問４　D＝外的事実（外的現象も可）　E＝内的事実（内的世界も可）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第十二講

（ア）③　（イ）②　（ウ）④　（エ）①　（オ）④
（カ）②　（キ）③　（ク）④　（ケ）④　（コ）④

解答漢字一覧

（ア）観察　（イ）解釈　（ウ）結晶　（エ）供給　（オ）普遍性
（カ）妄想　（キ）放棄　（ク）排除　（ケ）周知　（コ）現象

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。